

# 市立旭川病院 医療連携NEWS



第13号 2019年2月28日

## 市立旭川病院 地域医療連携課のご紹介

日頃から、医療連携にご協力いただき誠にありがとうございます。

当院は、地域医療機関の皆さんとの連携を円滑に進めることで、患者さんにより良い医療を提供したいと考え取組を進めてまいりました。医療をとりまく環境は大きく変化し、医療・福祉・介護を担う多職種との連携が重要となっています。今後も、顔の見える連携を心がけながら、業務に邁進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。以下、地域医療連携課の主な業務について紹介いたします。

### 医療連携事務

地域の医療機関からご紹介いただく患者さんの診療・検査予約の申込みをお受けする窓口です。紹介元の医療機関へ患者さんの診療結果等を発送する業務も行っています。また、年に数回、一般住民向けや医療従事者向けに講演会等を開催していますので、地域医療機関の皆さんもどうぞご参加ください。

### 医療相談

医療ソーシャルワーカーが、面談または電話で相談をお受けしています。当院の患者さんでなくても相談は可能です。

- ・医療費や療養に関わる生活費等の経済的な問題
- ・療養中の心理的・社会的な問題
- ・介護保険制度・社会保障制度 その他

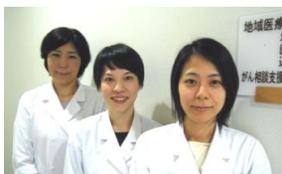
### 退院支援

患者さんの退院に向けて、安心して療養生活を送りながら、スムーズに退院していただけるよう、専従の看護師・医療ソーシャルワーカーが支援しています。また、退院に関わる医療機関や入所施設などとの連携窓口としての業務を行っています。

退院支援では、病棟ごとに担当する職員を決めています。患者の病棟や担当職員が分からない場合は、地域医療連携課（内線：5372）にお問い合わせください。

### がん相談 支援センター

患者さんやご家族の方からのがんに関する疑問や不安、悩みにお答えするため『がん相談支援センター』を開設しています。当院に通院・入院中の患者さん・ご家族の方に限らず、他院の患者さんやご家族の方、一般の方々からのご相談も受けています。また、がん相談支援センターはセカンドオピニオンの相談・手続の窓口になっています。



星MSW・朝日MSW・菅原MSW



橋口PSW・龍野PSW・浅田PSW



小野寺NS・増山NS・松倉NS

## 市立旭川病院 地域医療連携課

場所 市立旭川病院 外来棟1階

受付 月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始の休診日を除く）午前8：30～午後5：00

電話 (代表)0166-24-3181

内線

5370	医療連携事務
5302	医療相談（MSW）
1259	医療相談（PSW）
5372	退院支援・がん相談支援センター

上記のほか、地域医療連携課では、地域包括ケア病棟担当業務および精神科訪問看護業務を行っています。  
（なお、精神科訪問看護業務は現在当院精神科通院中の患者さんのみを対象としています。）

# 地域包括ケア病棟のご案内

市立旭川病院では、平成28年5月から東病棟7階に地域包括ケア病棟を開設しています。  
病床数は38床（個室5室，2人部屋1室，4人部屋4室，5人部屋3室）です。

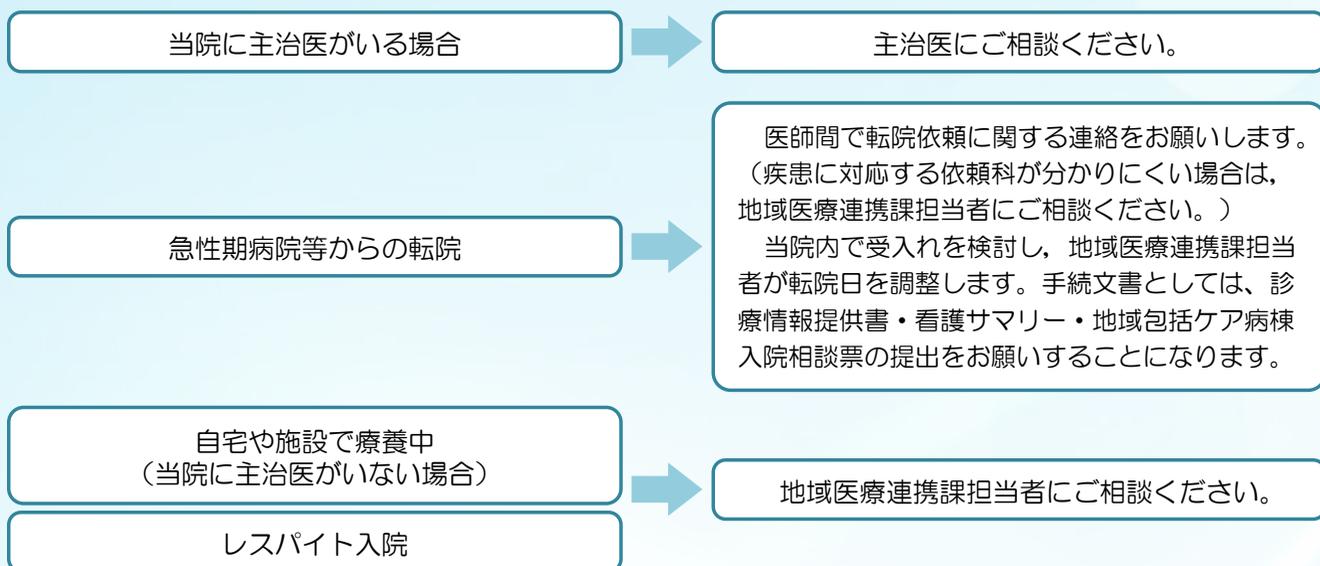
## 1 地域包括ケア病棟とは

主に、急性期の治療を終えたあと自宅や施設へすぐに移行することに不安のある患者さまに対して、医療管理・看護・リハビリテーションを行い、自宅や居住系介護施設へ円滑に退院していただくための病棟です。

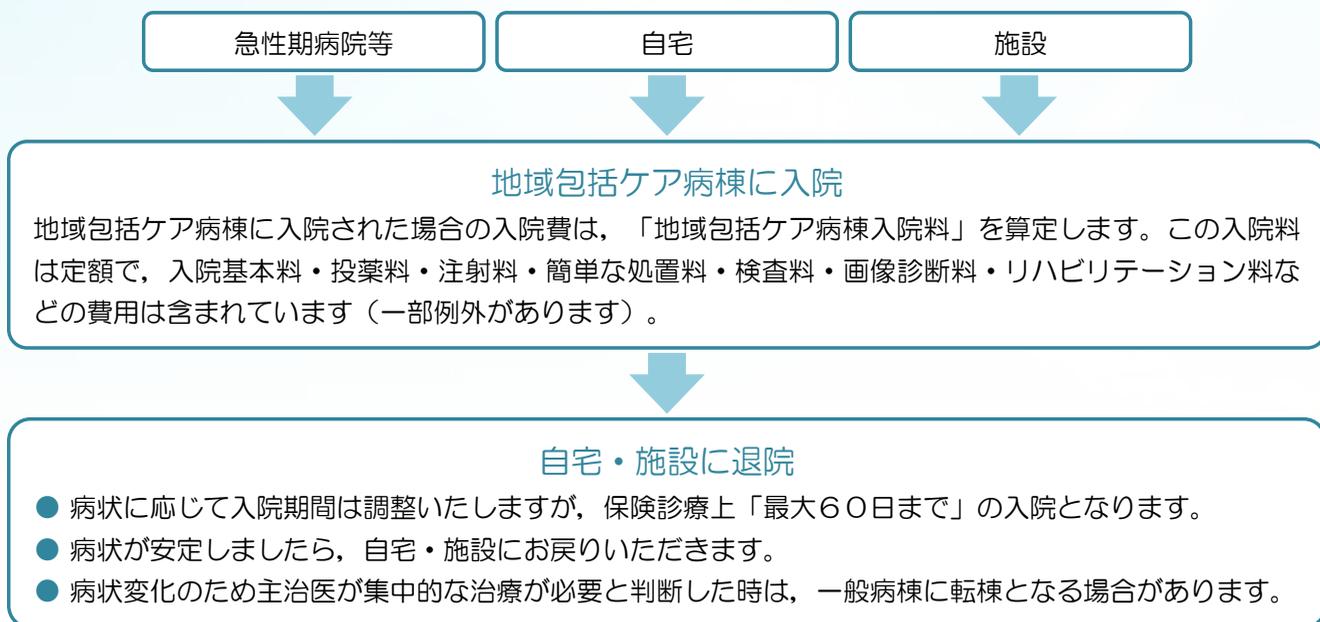
具体的には、次のような患者さまが対象となります

- ① 急性期の入院治療により病状が改善したあと、もう少し治療や経過観察必要な方
- ② 入院治療により病状が安定し、在宅に向けてのリハビリテーションが必要な方
- ③ 入院治療により病状が安定し、自宅や施設での療養に向けての準備が必要な方
- ④ 自宅や施設で療養中に、重症ではないものの緊急に入院医療が必要になった方
- ⑤ レスパイト入院の方（当面は、当院主治医が訪問看護指示を行っている患者さまのみを対象とします。）

## 2 地域包括ケア病棟受入れの相談先



## 3 入院・退院について



### 地域包括ケア病棟に入院

地域包括ケア病棟に入院された場合の入院費は、「地域包括ケア病棟入院料」を算定します。この入院料は定額で、入院基本料・投薬料・注射料・簡単な処置料・検査料・画像診断料・リハビリテーション料などの費用は含まれています（一部例外があります）。

### 自宅・施設に退院

- 病状に応じて入院期間は調整いたしますが、保険診療上「最大60日まで」の入院となります。
- 病状が安定しましたら、自宅・施設にお戻りいただきます。
- 病状変化のため主治医が集中的な治療が必要と判断した時は、一般病棟に転棟となる場合があります。

## 4 レスパイト入院（介護休暇目的入院）について

### ■ レスパイト入院とは

在宅で介護にあたっているご家族（介護者）が、その疲れから介護を続けることができなくなることを防いで、在宅医療・在宅介護を支えるための入院です。

冠婚葬祭や介護者の病気・入院・出産・旅行などで一時的に在宅介護が困難になる場合に、患者さまの入院を受け入れることで介護者を支援します。

### ■ レスパイト入院の条件等

- ① 一時的な入院です。退院時にご自宅にお帰りになる方を対象とします。
- ② 主に、褥瘡処置・たん吸引・麻薬の管理・胃瘻・気管切開・点滴・在宅酸素を行っている方を対象とします。
- ③ 一回の入院期間は、原則として14日間までです。また、原則として入院の更新はできません。
- ④ 入院の際は、普段使用されているお薬をお持ちください。
- ⑤ 患者さまの状態によって入院継続困難な場合は、予定よりも入院期間が短くなる場合があります。
- ⑥ 入院の際は、保険証のほか、保険者が発行する「限度額適用認定証」をお持ちください。

### ■ 受入れ手順（当面は、当院主治医が訪問看護指示を行っている患者さまのみを対象とします。）

#### 1. 予約入院

利用希望日の2週間前までに地域医療連携課へ電話でお申し込みください。お申し込みは、かかりつけ医・訪問看護師またはケアマネジャーからお願いします。患者さまの状況をお尋ねします。患者さまの状況により、診療情報提供書・地域包括ケア病棟入院相談票をお願いする場合があります。

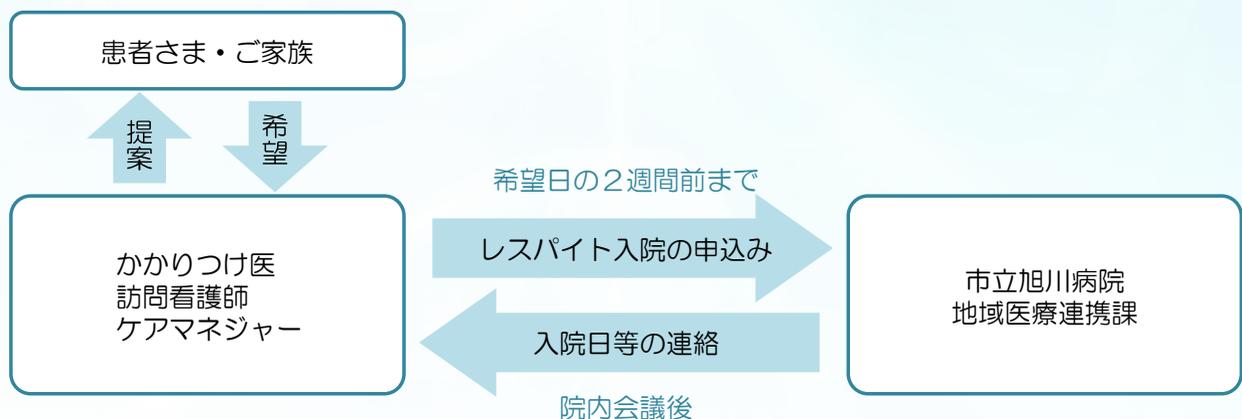
毎週水曜日に院内の会議で検討し、翌日以降に結果を連絡します。

#### 2. 緊急入院

緊急の場合も地域医療連携課へお申し込みください（対応は平日の日中のみ）。お申し込みは、かかりつけ医・訪問看護師またはケアマネジャーからお願いします。患者さまの状況を確認後、担当医と協議して受入れの可否を連絡します。患者さまの状況により、診療情報提供書・地域包括ケア病棟入院相談票をお願いする場合があります。

### ■ 対応時間等

- ① レスパイト入院のお申し込みは、平日の8：30～17：00にお願いします。
- ② 実際に入院される日は、土曜日・日曜日・祝日にも設定することができます。
- ③ 入院時間は調整後に連絡します。夜間に緊急のレスパイト入院を受け入れることはできません。



◎「地域包括ケア病棟入院相談票」の様式は、当院ホームページに掲載しています。

◎ご不明な点は、地域医療連携課担当者までお気軽にご相談ください。

### 市立旭川病院 地域医療連携課

場 所 市立旭川病院 外来棟1階

受 付 月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始の休診日を除く）午前8：30～午後5：00

電 話 (代表)0166-24-3181 内線5372

FAX (直通)0166-26-0008

## 市立旭川病院 医師紹介 ～私の履歴書～

胸部外科診療部長

村上 達哉



「胸部外科」という標榜科を有している病院は全国的にも少なく、それは当科が長い歴史を持っているということの意味します。当科は1971年に開設され、北大関連病院として初めて心臓手術が可能となりました。当初は心臓、大血管・末梢血管、肺にわたる広い範囲の外科的治療を行っていました。最近では心臓血管外科と呼吸器外科を別々の科が担当する病院が多くなり、当院でも前者を当科が、後者を外科がそれぞれ担当しています。しかし、「胸部外科」という標榜名は今もそのまま残しています。

私は1985年に旭川医科大学を卒業し、北海道大学医学部第二外科（現循環器・呼吸器外科）に入局しました。それ以降、旭川での勤務経験はなく、今回2016年7月久しぶりに旭川に戻ってきました。旭川には小学校5年生から暮らし始め、市立病院の裏にあった医師住宅に住んでいました。現在の市立病院は当時とは比べものにならないくらい立派になりました。現存する建物は医局が入っている旧病棟だけです。また、裏の堤防も河川敷もほとんど整備されていない荒地で、夏も冬も絶好の遊び場でした。一緒に遊んだ仲間たちの何人かは医師となり、現在市内の医療機関に勤務され、日々大変お世話になっています。

私はアメリカでの2年間の基礎研究をはさんで道内の大学関連施設で研修・勤務した後、再びアメリカで3年間臨床研修を積んできました。オレゴン州ポートランドのセントビンセント病院に2年間、ミネソタ州ロチェスターのメイヨークリニックに1年間それぞれ臨床フェローとして周術期の診療に携わりました。いずれの病院も手術症例数が日本の病院と比べて桁違いに多く、個人的には3年間で約900例の開心術に入りました。後半は術者経験も積ませていただきました。その経験を生かし、帰国後すぐに王子総合病院心臓血管外科（苫小牧市）に赴任し、東胆振地区唯一の心臓血管外科診療体制を構築しました。当院に異動になるまで16年間勤務し、今では道内でも屈指の手術件数の多い科となりました。冠動脈バイパス術、弁形成術、不整脈手術、胸部大動脈瘤、大動脈解離など、心臓外科、大血管・末梢血管外科全般の領域を地方の病院でもカバーできるようになりました。高齢の患者さんや介護にあたるご家族にとって札幌は近くて遠く、地元で同等の治療が受けられることは大きな恩恵となります。

私は当院に移ってからも積極的に心臓血管外科診療を行っております。当科は昔から院内・院外の内科医の先生方と連携を組み、道北地区での循環器診療のレベルアップを図ってきました。その姿勢は今も変わりません。また、最近では血管内治療が急速に進歩し、当院放射線科と密接に連携し協同して診療に当たっています。心臓血管外科にかかわる疾患に関して、是非ともお気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

市立旭川病院 医療連携NEWS 第13号

市立旭川病院 地域医療連携課

〒070-8610 旭川市金星町1丁目1番65号

電話：(代表)0166-24-3181

FAX：(直通)0166-26-0008